國際經濟週報

新聞聯合社發行

81　(No. 531)　昭和五年三月廿九日發行　第十一號　第十一卷　(大正九年十月九日第三種郵便物認可 毎週一回土曜日發行)

(本號所掲電報＝昭和五年三月九日——十五日迄發信)

インド　綿布關稅修正案提出

ニュー・デリー　三月十一日(火)

インド立法議會議員チェチー氏(R. K. S. chetty)は本日綿布關稅修正案を提出した。右は九日開かれた財政長官シャスター氏、商務長官レーニー氏及び立法議會有力者の協議の結果によるもので、その内容は左の如し。

一、晒若しくは反染に非ざる平織生地綿布にして、長さ九ヤード(但し中途に織出によるヘッヂングのないもの)以上のピースにて輸入された場合。

イ、イギリス製品に對しては一割五分の從價稅か、若しくは一封度に付三アンナ半の從量稅か、何れにても高き方を課す。

ロ、イギリス以外の外國製品に對しては二割の從價稅か、若しくは一封度に付三アンナ半の從量稅か、何れにても高き方を課す。

一、右以外の綿布の場合(イ)イギリス品に對しては一割五分の從價稅を、(ロ)イギリス以外の外國品に對しては二割の從價稅を課す。

右修正案の主旨はランカシアの平織生地綿布の輸入を抑へ、インド紡績の製品を保護せんとするにある。

▲修正案の影響▼

ニュー・デリー　三月十二日(水)

インド綿布關稅に關するチェチー氏の修正案の影響は左の通り。

一、イギリス平織生地綿布にして漂白せざるもの又は反染に非ざるものは特惠が與へられない。(三アンナ半がかゝる)

一、然しその他の品、例へば晒物、ドーテー、ジャコネット、マルマル等は特惠が與へられる。(三アンナ半がかからない)

又日英ドーテイは如何なる影響を蒙るか。

一、イギリスのドーテイ

中途に織出によるヘッヂングのあるものは三アンナ半の從量稅がかゝらない。又九ヤード以下のものでも織出ヘッヂングのあるものは從量稅がかゝらない。

一、日本のドーテイ

十ヤードもの或はそれ以下でもプリンテッド・ヘッチングのあるものは從量稅がかゝる。

▲綿布關稅討議▼

ニュー・デリー　三月十三日(木)

インド商務長官レーニー氏は本日立法議會に於て綿布關稅引上案の討議を促し、左の如く述べた。

この法案の主旨はインド綿業の窮狀を救はんとするに止まり、決して帝國特惠主義を含むものでない。それ故に政府は反對黨の議員より提出せる諸修正案を採用し政府原案に大修正を加へる意思はない。然し政府はチェチー氏の修正案を承認する考へである。

次で一般討議に入つたが、これは頗る激烈であつた。

バンヂト・マラヴィア氏

政府が特惠關稅を自發的に出したのは不都合である。これは獨立を要望するインド人の反感を益强めるに過ぎない。よつて自分は次の勸告をする。即ち一割五分の從價稅か若しくは一封度に付三アンナ半の從量稅の中、何れにても高き方を各國一樣に課する事である。斯くすればランカシアを援ける事にもなり、而も法律上の差別待遇を避ける事になる。

シャスター氏(財政長官)

政府の案は決して特惠關稅を意味しない。單にインドの最も利益になる樣差等をつけたに過ぎない。斯ふした差等は他の自治領の關稅中にも存在してゐる。

ピー・ダス氏

余は帝國特惠には全然反對である。余は友邦特に日本に不快な感じを持たせたくない。日本はインドの棉花を買つて呉れる。然るにランカシアはこれを買はない。余はランカシアに何の同情をも感じないものであるランカシアは過去七十年に亘りインド産業の伸長を妨害して來たものである。(喝采)

エス・シー・ダット氏

余は消費者の利益のためこの法案に反對する。帝國特惠の如きはインドに自治領の地位を與へた後に於て初めて論ずべき問題である。

モーデー氏(孟買紡績聯合會長)

議員諸君は單なる感情にとらはれてインドの國民的産業を破壞せんとするものであるか。日本政府もインドと同樣の立場に立つたら矢張り同樣の對策を考慮するに相違あるまい。而も日本政府は對策を決定すれば速かにこれを實行に移すだらう。又日本の勞働狀態が改善されたことは認めるが、然し日本はなほ二交代制を採用してゐる。これはワシントン條約に反するもので、從つて不正なる利益を得てゐるものである。

チャマンラル氏

綿業はモーデー氏のいへる如くインド國民的産業ではない。インド消費大衆は小數の紡績業者の腹を肥すために金を取られるのはマツピラである。モーデー氏がこれによつて得る利益の半分を勞働條件の改善のために使用することを誓はない限り、余は斷然反對の態度を弛めない。

討論は仲々終結しそうにないので本日は採決に至らずして散會となつた。

日支關稅協定假調印を了す

南京　三月十二日(水)

日支關稅協定假調印は十二日午後五時の豫定が繰り下げられ同六時半重光代理公使と王正廷外交部長との間に了せられた。但し十二日は孫文逝去五周年記念日に當り支那全國の公休日なので、支那側の希望により日附は特に前日の十一日となした。

その内容は列國と南京政府との協定内容と大同小異である。今その中主要なる點をあぐれば、

一、支那の完全なる關稅自主を承認す

二、最惠國待遇の規定

三、從來の陸境關稅(關稅の三分ノ一)規定を廢し海陸關稅一律稅を承認す

等で互惠品目並にその稅率、厘金及び類似の内地稅撤廢、債務履行等に關する規定は往復文書中に明記してある。互惠待遇の有効期間については明記してないから將來通商條約の滿期日を以て滿期とする譯である。

濠洲の關稅引上案

シドニー　三月十一日(火)

傳へられる所によると、オーストラリア政府は貿易逆調對策として目下關稅の引上げを考慮中であり、全般に亘り一割乃至一割五分の引上げを見る可能性があると。この結果商人及び貿易商は急遽商品を保稅倉庫より引取りつゝある。昨日はガソリンの引取りが多額に上つたが、本日は更に一般的になり、一般貨物より機械類に亘り多額の引取りが行はれてゐる。又昨日のシドニーに於る商品(關稅濟)輸入額は七萬五千五百十三ポンドといふ多額に達した。これは平時に比べると著しい增加である。

メルボルン　三月十一日(火)

關稅引上げ見越しから輸入商にして保稅倉庫より商品を引取るものが激增しつゝある。新關稅が實施せられる迄には全部引取られるであらう。なほ今回の關稅引上げの中には原料品も含まれてゐるものと思はれる。その結果多くの内地製商品價格は著しく騰貴するであらう。

ブリスベーン　三月十一日(火)

ブリスベーンに於る輸入商も保稅倉庫在庫品引取りに狂奔しつゝある。

國別索引

毎號連載　事項省略

米國
二月中の手形交換高……八二
ニューヨーク、シカゴ諸市場火曜休止……八二
ニューヨーク準銀利下……八二
クリヴランド準銀利下……八二
二月中の精銅統計……八二
二月中の金銀塊輸出入額……八二
製鋼會社の合同……八二
ユー・エス・スチール會社二月末鋼鐵註文殘高……八二
二月中の銑鐵及鋼塊生産高……八二
二月中の綿布統計……八二
ニューヨーク棉花の反撥……八二
二月中の米棉統計……八二
二月中の棉花消費豫想……八二
二月中の綿布統計……八二
レーヨン從量稅引下案可決……八六
濠洲に靴下工場設立……八六
シカゴ小麥相場の下落……七七
三月一日現在小麥農家手持高……七七
農事局の資金增加……七七
二月中のゴム需給統計……七七
東洋郵便契約の入札……八六
二月中の輸出入額……七七
玖馬
キューバ糖賣値二セント維持……七七
新借換公債の成績……八二
オーストラリヤより金の流入……八二
二月中の銀塊輸出入額……八二
二月中の對日鐵類輸出高……八三
二月中の鐵類統計……八三
マンチエスター商業會議所印度綿布關稅に抗議を憚る……八三
綿織物組合設立登記……八三
二月中の綿糸布輸出高……八六
二月中の對日紡織機械輸出高……八六
二月中の對日生糸及絹織物輸入高……八六
植民地製糖業救濟……七七
二月中の砂糖消費高……七七
二月中の輸出入額……八八
二月中の對支主要商品輸出高……七七
英國
大精製糖會社の設立……八二
國立銀行總裁後任選任さる……八二
二月中の生活費指數……八八
二月中の輸出入額……八八
西班牙
國立銀行利下……八二
波蘭
金貨本位採用計畫……八二
獨逸
綿布關稅修正案提出……八一
綿布關稅討議……八一
印度
カルカッタのジュート職工罷業……八六
二九—三〇年度小麥反別豫想……七七
緬甸
ゴム減産に參加……八七
海峽植民地
二月末の商人ゴム手持高……八七
瓜哇
自吾月至三月ジャワ糖荷動統計……八七
二月中の砂糖輸出高……八七
濠洲
關稅引上案……八七
棉花栽培奬勵……八六
大北、大東電信回收公債發行……八六
支那
糸價救濟運動起る……八六
日華紡職工罷業……八六
日本
對支關稅協定假調印を了す……八一
世界
錫減産大いに進歩……八六
綿業統計……八六

A4 8

株式・金融

ニューヨーク株式市況

ニューヨーク 三月十五日(土)

今週の市況は稍々活潑である。初め商工界方面からの情報不良の爲め賣り物續出し、市況は區々を呈した。然し商品株、煙草株、石油株及び自動車株に對しては買ひ物が多額に注がれた。

其の後諸株は一般に奔騰した。これは金融引弦みによる。即ちコールマネーは四分乃至三分半の低率を示し、又銀行引受手形割引率は更に八分の一パーセント方引下げられた。この結果ニューヨーク聯邦準備銀行利下期待は益々濃厚となつたが右は果して十四日（金）より三分半に引下げられた、諸株の中最も活況を呈したものは石油株である。これは石油の產額が激減した爲である。銅株は銅の需給統計不良を移して引立たない。

市況の前途に就て或る方面では次の如く觀測してゐる。即ち目下の株價は商工界の回復を實狀以上に書き込み過ぎてゐる從つて近く反落が來るであらうと 然し又次の如く云ふ向もある。即ち聯邦準備銀行の低利政策により漸次株價は上がつて行くであらうと。

債券市場は强硬活潑である。之れは金融引弛みの爲である。

アメリカ二月中の手形交換高

ニューヨーク 三月八日(土)

ファイナンシャル・クロニクル誌調査、二月中のアメリカ手形交換高は左の通りである。

全アメリカ	四二、四一八百萬ドル		
内ニューヨーク	二五、九六八百萬ドル		
之れを過去四ケ年の同期並に最近四ケ月と比較すれば左の如し。（單位百萬ドル）			
	全アメリカ	内ニューヨーク	
二月			
昨年	五四、六六九	二五、九三〇	
一月	五三、一九七	二五、一〇〇	
本年	五一、四九六	三二、〇三一	
累計	一〇五、六六五	二五、九六八	
昨年	四〇四、一七	八五、六三六	
二月	四四、六三〇	九六、一九二	
一月	五三、一九七	一二、八〇〇	
本年	五四、六六九	二〇、八〇〇	
累計	一〇四、一九六	三二、〇三一	
昨年	四〇四、一七	八五、六三六	
二月	四四、六三〇	九六、一九二	
一月	五三、一九七	一二、八〇〇	
本年	五四、六六九	二〇、八〇〇	
累計	一〇五、六六五	二五、九六八	

ロンドン株式市況

ロンドン 三月十五日(木)

取引は各方面共依然少い。然し底意は可成り良好で、好材料も多數にある就中特記すべきは優等證券類が引續き强調を呈してゐることで、この原因は主として金融界の前途が樂觀されるためである。インド公債は稍浮動してゐる。ヨーロッパ大陸公債は手堅く、ブラジル公債は强調である。日本及び支那公債は閑散乍ら底堅く、工業株は最近稍見直して來た。然し豫算については不安があるため商内は增加しない。レーヨン株中コートールズは稍引戻した煙草株は閑散乍ら保合。國際關係の株式は相當買ひ氣がある。石油株はアメリカ減產により底堅を呈し、ゴム株は大部分鈍狀である。

ロンドン金融市況

ロンドン 三月十三日(木)

資金の需給關係は可成り盛んに變動してゐる。

手形の割引市場は不活潑。

ロンドン公社債相場

日本公社債額面(百ポンドに付)

	利率 三月十日	十三日
英貨六分利公債	六	九九・四分三
第三回英貨公債	四	九九・四分三
東京市事業公債	五	七二・二分一
同電氣事業公債	五	九三・二分一
大阪市電鐵水道同	五	八一・
第十三回興銀社債	五	八八・
第四回滿鐵社債	四半	九三・二分一
第十九回同	五	九四・二分一
東京電燈新社債	六	九三・二分一
東京市新英貨公債	五半	八八・四分三
		九四・二分一
		九二・二分一
		九三・

イギリス 新借換公債の成績

ロンドン 三月十三日(木)

下院で藏相ノーデン氏の發表した所によると、去る二月廿二日發行された新借換公債は現金應募六千八十萬ポンド、五分半利付國庫債券と引換應募三千二百萬ポンド計五千二百八十萬ポンド（九億二千八百萬圓）で頗る好成績であつたと。

（備考）右借換公債の發行條件は左の通り

一、利　　率　年四分半
一、發行價格　九十五
一、發行額　制限なし
一、償　　還　一九四〇—四四年パーにて

ニューヨーク 諸市場火曜半休

—タフト氏葬儀のため—

ニューヨーク 三月十日(月)

ニューヨーク及びシカゴの諸取引所は十一日(火)午後零時三十分限り閉場する。之は去る八日永眠した元大統領、大審院長タフト氏の葬儀が當日執行されるのでこれに弔意を表するためである。

大北、大東電信 回收公債發行

上海 二月十一日(火)

南京政府交通部は豫て大北、大東兩電信會社との契約期限滿了後內外電報を自國の手で取扱ふ事に決しこれに要する一千萬元を電信整理公債として發行せん事を計畫中であつたが行政院は十一日これを可決した右公債は本年四月一日發行年利八分で償還期限は十ケ年である。

ニューヨーク準銀利下

ニューヨーク 三月十三日(木)

ニューヨク聯邦準備銀行は公定割引步合を四步より三步半に引下ける旨發表した。實施は十四日からである。

クリヴランド準銀利下

クリヴランド 三月十四日(金)

クリヴランド聯邦準備銀行は公定割引步合を四分半より四分に引下げた。實施は明十五日からである。

（備考）十二聯邦準備銀行中ニューヨークは三分半、ボストン、シカゴ、カンサスシチー、クリーヴランド四行は四分、殘りは全部四分半である。

ポーランド銀行利下げ

ワルソー 三月十三日(木)

ポーランド國立銀行は公定割引步合を八步から七步に引下げた。

ドイツ 國立銀行總裁後任

ベルリン 三月十一日(火)

去る七日突如辭職したドイツ國立銀行總裁シャハト氏の後任として元首相ルーテル博士が選任された。

爲替・銀塊

ロンドン外國爲替市況

ロンドン 三月十三日(木)

特記すべきは初めドイツ爲替が軟調を呈したことである。光も最近には引戻してゐる。その他の大陸爲替は無材料、英米爲替は引續き一般に手堅い。支那爲替は銀塊に連れて浮動し、日本爲替は底堅である。

ロンドン銀塊市況

ロンドン 三月十三日(木)

今週の市況に關しロンドン著名の銀塊仲買商は左の如く報告してゐる。

△サミュル・モンタギュ商會

相場は浮動してゐるが然し前週の底値よりは若干回復してゐる。ヨーロッパ大陸及びインドは今週先物を賣り其結果十一日(火)の先物相場は下押した。然し翌十二日(水)には引戻してゐる。これは右の賣り物が止んだ爲めである。一方現物はインドの期近渡に對する需要が續いた爲め手堅く保合つてゐる。アメリカは今週小量賣つたに過ぎないがヨーロッパ大陸筋は引續き賣つてゐる。

△モーカッタ・ゴールドスミッド商會

インドへ積出す爲め相當需要があつた。支那は引續き先物を買つた。然し此買物は大陸筋及びアメリカの賣り物で充された。支那の銀輸入稅賦課風說は相變らずあり人氣を迷はせてゐるが、若し輸入稅が賦課されなければ銀相場は漸次回復して來るものと思はれる。

イギリスの金積出し

シドニー 三月十三日(木)

今回二百萬ポンド(二千萬圓)の金がオーストラリヤよりロンドンへ積出された。之はロンドンに於けるオーストラリヤ勘定を補塡する爲である。

イギリス二月中の銀塊輸出入額

ロンドン 三月十二日(水)

イギリス商務省發表、二月中のイギリス銀塊輸出入額は左の如し。（單位千オンス）

△輸入		本年累計	昨年同期
粗銀		五、三二五	三九一
精銀		七九〇八	六、二四五
內アメリカより		一、九六四	四、五五八
△輸出精銀		九、二八二	二〇、九六三
內支那へ		—	—
インドへ		八、九八六	一九、五八二
		一九、五八二	九、〇九九

アメリカ二月中の金銀塊輸出入額

ワシントン 三月十四日(金)

アメリカ商務省發表、二月中のアメリカ金銀塊輸入出額左の如し。（單位千ドル）

	本年累計	昨年同期
金塊（輸入）	七三、一〇六	七五、四九〇
金塊（輸出）	二〇七	九、一五五
銀塊（輸入）	八、六七九	二、八〇三
銀塊（輸出）	三、九二三	一三、七一八
	五、三三一	一四、八五九

（備考）（單位千ドル）

	金塊	同輸	銀塊	同輸
	輸入	出	輸入	出
昨年二月	二六、九一三	一、四二五	四、四四八	六、五九五
十二月	八、一二一	七二、五四七	四、四七七	六、三五九
本年一月	三、九〇八	八、九四八	四、七五六	五、八九一
二月	六〇、一九八	二〇七	三、九二三	五、三三一

ペルシヤ 金貨本位採用計畫

テヘラン 三月十日(月)

ペルシヤ政府は通貨を金本位に變更する法案を本日議會に提出した。その單位はパーレヴィ(PahleYi)で、一パーレヴィはイギリス貨一ポンドに相當する。

金物

ニューヨーク金物市況

ニューヨーク 三月十二日(水)

△鋼鐵 製鋼工場は先頃來の作業率を維持してゐるが、買ひ物は目下の所概して小口である。然し一部では近く季節的の需要擡頭を期待してゐる。

△銑鐵 底り。買ひ氣は漸增の傾向にある。

△鋼 海外の買ひ物は引續き相當あるが、內地の消費筋は手控へ模樣で、目先必要品を買つてゐるに過ぎない。ロンドンの相場は强調である。然しアメリカは在荷が益增加してゐるので一向買ひ氣が刺戟されない。

△錫 閑散乍ら手堅い。賣り手は賣り控へてゐる。これは十日ロンドンの錫生產者組合が世界主要錫生產者の協定限產は目下昨年生產高の約一割一分に達してゐる旨發表したからである。

△鉛 軟弱、消費需要は全く停頓の狀態にある。

△亞鉛 鈍狀。需要は大部分小口の期近物である。

△安質母尼 引弛。需要は少ない。

ニューヨーク金物相場

三月十日(月)

銑鐵第二號鑄物用(一トン)		一九弗三五仙
ビレッツ(ベスマ、同)		三三弗
スチール・バー(ベスマ、百封度)		一弗八七仙
スチール・シエーブス(同、同)		一弗八二仙
タンク・プレート	(同、同)	一弗八二仙
ブラックシート	(廿四番同)	二弗七〇仙
亞鉛引シート	(同、同)	三弗三五仙
鉄力(プライム・ベース)ボックス、一箱		五弗二五仙
三月六日(木)(一封度)		三六仙八分一
海峽錫(一口一車廿五トンC.i.f.紐育)		五仙
亞鉛(一口一車プライム・ウエスタンf.o.b.聖路易渡)		五仙二分
鉛(一口一車紐育渡)		八仙八分一
安質母尼(一口廿五トン關稅濟f.o.b.紐育)		

（電氣銅相場は第四頁に掲載）

製鋼會社の合同

ニューヨーク 三月十二日(水)

ベスレヘム鋼鐵會社(Bethlehem Steel Corp)は今回ヤングスタウン・シート・エンド・チューブ會社(Youngstown Sheet and Tube Company)を合併することになつた。この合併によりベスレヘム會社の一年間の鋼塊生產能力は千五百萬トンとなる見込みである。

（備考）ベスレヘム鋼鐵會社は資本金約五億ドルを有するアメリカ第二の大製鋼會社、舊臘ユー・エス・スチール會社の例にならひ群小會社の合併計畫をたて既に最近太平洋岸製鋼會社、南カルフォルニア鐵鋼會社を合併した。ヤングスタウン・シート・エンド・チューブ會社は資本金九千萬ドル、一年間の生產能率は約三百萬トンである。

ユー・エス・スチール會社 二月末鋼鐵注文殘高

ニューヨーク 三月十日(月)

二月末に於けるユー・エス・スチール會社の鋼鐵註文殘高は四百四十八萬トンであるこれを過去四ケ年同期並に最近四ケ月と比較すれば左の如し。（單位千トン）

		最近三ケ月	昨年二月
一九二七年二月		三、五九七	四、一四四
二八	同	四、三九八	四、四一七
二九	同	四、一四四	四、四六九
三〇	同	四、四八〇	四、四八〇
		本年一月	二月

アメリカ二月中の銑鐵及鋼塊生產高

ニューヨーク 三月十日(月)

二月中のアメリカ銑鐵及鋼塊生產高左の如し。（銑鐵はアイアンエーヂ誌、鋼塊はアメリカ鐵鋼協會調査による（單位トン）

	銑鐵	鋼塊
二月	二、八三八、九〇〇	四、〇六八、〇〇〇
本年累計	五、六六六、四〇〇	七、八五四、三〇〇
昨年同期同	六、六四八、五五五	八、八一六、三五四
一昨年同	五、七六九、八八七	八、〇三六、六三六
（備考）（單位トン）		
	銑鐵	鋼塊
昨年二月	三、二〇六 一八五	四、三二六、〇〇〇
十二月	二、八三六、九一六	二、八九六、一六九
本年一月	二、八七七、五〇〇	三、七八六、三〇〇
二月	二、八三八、九〇〇	四、〇六八、〇〇〇

アメリカ精銅統計

ニューヨーク　三月十二日(水)

アメリカ金物統計局發表、二月中の南北アメリカ精銅統計左の通り。

（單位千米トン）

		昨年同期
生産高	三一	一四一
引渡高	九二	一九五
内輸出	三〇	五〇
内地	六二	九九
月末在莊高	二三	五五

（備考）

生産高					
引渡高	輸出	内地	計	在荷高
昨年二月	一四	吾〇	九九	一四九	五五
十二月	一三八	三六	五八	九四	一七一
本年一月	一三一	三〇	七〇	一〇〇	二〇三
二月	一一〇	三〇	六二	九一	二三三

ロンドン金物市況

ロンドン　三月十四日(金)

市況は大體引續き閑散である。

△銅　相場は初め比較的上値に買ひ支へられてゐたが、その後人氣は再び動搖を來たした。これは二月末のアメリカ精銅統計が弱氣的に發表されたゝめである。

△錫　市況は初め手堅かつた。これは錫生産組合の生産調節策が更に進捗を見たこの報道があつたゝめである。然し高値には賣り物が誘發され、加ふるに可成り多量の手仕舞賣りが出たので相場は引弛んだ。この形勢から見ると市場の決定的上支へはまだ確實とはいひ難い。

△鉛及亞鉛　疎りである。然し取引出來高は依然少い。

ロンドン鐵類相場

蘇格蘭　東北岸

三月十五日(土)

アイアン・クラウンバー	九磅四分三	一〇磅四分一
アイアン・アングル	一〇磅	一〇磅二分一
アイアン・テイース	一〇磅四分一	一〇磅四分三
スチール・シツプ・プレート	七磅四分三	七磅四分三
ボイラー・プレート	一〇磅二分一	一〇磅二分一
スチール・アングル	七磅八分三	七磅八分三
スチール・ジョイスト	七磅八分三	七磅八分三
レール	—	八磅
シェーフイルド・スチール・ビレツツ	六磅二分一	
〔ソフト現物	八磅八分一	九磅八分五
〔ハード同		
クリーヴランド・スクラツプ	六二志	
〔ヘビー・スチール	六二志二分一	六五志
〔ヘビー・カストアイアン	六二志二分一	七八志
銑鐵（グラスゴー第三號上物）	七二志	
同（クリヴランド第三）		
〔號鑄物用輸出品	三磅二分一	
ブラツクシート〔東北岸本船渡		
〔一束百七封度〕	二志	
ワイヤー・ネールス		

錫の減産大いに進捗

ロンドン　三月十日(月)

錫生産者組合の實行委員は今回各地に於る本年度錫生産狀況の豫備的調査を終り、その結果を本日左の如く發表した。

マレー、ボリヴイア、ニジエリヤ、ビルマ(インド)、シヤム、南及び東アフリカ、コーンウオール(イギリス)及びオーストラリアに於る生産者の大部分は既に減産を實行し、若しくは實行せんとしてゐる。オランダ領東インドの生産者も減産政策に全く贊成なる旨聲明してゐる。而して本年の同國バンカ錫、産額は最高二萬二千トンに制限さるべく、又同國ビリトン錫會社（ビリトン島の錫採掘の特許を有す）の産額も過去三ケ年の平均に迄制限（これは昨年の産額に比すれば一段の減産に當る）することになつてゐる。バンカ及びビリトン錫はオランダ領東インドの錫産額の五割五分以上を占めてゐるのである。斯くして前記諸國の總減産額は今や年額二萬四千〇九十六トンに達してゐる。この成績から見て總減産額を三萬トンにすることも不可能でないと思はれる。

（備考）昨年の世界錫生産額は未だ發表されないので一昨年、即ち一九二八年の數字により主要國の産額を示せば左の通りである。

マレー	六四、三三トン
ボリヴイア	四〇、四〇六
オランダ領東インド	三四、九六四
ニジエリア	九、〇四四
シヤム	七、八〇〇
支那	五、〇〇〇
オーストラリア	二、八〇〇
イギリス	二、五〇〇
インド	二、〇〇〇
南アフリカ	一、一〇〇
その他	四、三三五
合計	一七三、九七二

イギリス二月中の對日鐵類輸出高

ロンドン　三月十二日(水)

イギリス商務省發表、二月中にイギリスより日本へ輸出した鐵類は左の如し。

（單位トン）

		本年累計	昨年同期
鋼棒	一、七〇〇	三、七五八	三、七六二
鐵鋼板	七、八〇〇	九、八四〇	一六、八七五
亞鉛引鐵板	—	—	—
鉄力	一、四〇〇	三、四一〇	三、四〇五

昨年二月	二、六九一	七、〇〇七
十二月	九〇一	三、〇八六
本年一月	二、〇五八	三、〇四四
二月	一、七〇〇	七、八〇〇

イギリス二月中の鐵類統計

ロンドン　三月十五日(土)

イギリス鐵鋼協會調査、二月末に於る作業中の熔鑛爐並に二月の鐵類生産高左の如し。（單位トン）

	熔鑛爐	銑鐵	礦鋼及鑄鋼塊
二月	一六二	五七、〇〇〇	七六、〇〇〇
本年累計	—	一、二四七、〇〇〇	一、五七、〇〇〇
昨年同期	一四〇	一、〇八三、五〇〇	一、五九、五〇〇
一昨年同	一四	一、一一一、三〇〇	一、五〇、二〇〇

	熔鑛爐	銑鐵	鑄鋼塊
昨年二月	一四〇	五九、八〇〇	七四、九〇〇
十二月	一六二	六四三、〇〇〇	六六、一〇〇
本年一月	一五九	六五〇、〇〇〇	七一、〇〇〇
二月	一六二	五九七、〇〇〇	七六、〇〇〇

棉花・綿絲布

ニューヨーク棉花市況

ニューヨーク　三月十五日(土)

相場は初め低落したがその後實需買ひ及空賣りの買ひ埋めが出て下げ足は喰ひ止められた。然し市場は尙幾分神經過敏の狀を呈し氣配區々である。

二月中の肥料の賣れ行は昨年同期に比し三割一分三厘方多い。これは本年の植付反別が優に昨年と同樣であるか或は耕作が更らに集約的となつた事を示すものだと一部では見てゐる。去る十二日マンチエスターの萬國紡織聯合會が發表した今季上半期（昨年八月より本年一月末に至る）の綿業統計によると米棉の消費高は他國棉が增加せるに反し著しく減少してゐる（備考參照）然し次の如く見る向もある、即ち世界の棉花需要は依然多い。而して米棉の消費は減退してゐるがこれは下半期には增加する可能性がある。

最近雨天の爲め農家の耕作は若干遲れたとの報があるが然し植付準備は先づ平年通り進捗してゐるものと信ぜられる。民間の豫想では植付反別は昨年より七分乃至一割減を見込んでゐる。

（備考）萬國紡織聯合會發表世界棉花消費高は本號八六頁世界綿業統計參照。

ニューヨーク棉花反撥

ニューヨーク　三月十一日(火)

先頃來頗る軟調をたつてゐたニューヨーク棉花相場は久し振りで三十ポイント方反撥し、十三セント臺に落ちてゐた三月限も、十四セント臺に復活した、これは先頃來の暴落により仕手關係が強くなつてゐた所へリヴアプール高を移し空賣りの買ひ埋めが出たためである。又反動狙ひの買ひ物及び紡績買ひが出たことも相場反撥の一因である。大引の氣壓は疎りである。

ニューヨーク　三月十二日(水)

本日の相場は初めリヴアプール高により續騰したが、その後株式市況軟弱に伴ふ株式筋の賣り物に押されて反落した、然し午後に至り再び急騰し、結局前日より二十五ポイント乃至三十ポイント高で大引けた。これは次の原因による。

一、空賣りの買ひ埋め、實需、思惑買ひ等か一齊に出たこと。

一、勞働者の不足から新棉植付減少が幾分期待されること。

大引の氣配は疎りである。

ニューヨーク　三月十四日(金)

本日は更に上向歩調を示し各限約二十ポイント方續騰した。これは市場の仕手關係がなくなり賣り手が少い所へ實需筋外國筋の買ひ物が出で、又弱氣屋が買ひ埋めたからである。

アメリカ二月中の米棉統計

ワシントン　三月十四日(金)

アメリカ國勢局發表、二月中の米棉統計

（單位千俵、千錘）

		今季累計	前年同期
消費高	四九五	三、八一五	四〇四九
輸出高	四一三	五、三六九	六、三一三
手持高			
紡績工場	一、八二三		一、七四七
倉庫荷造所	四、八九九		三、八七六
紡績運轉錘數	二八、九二七		三、一〇〇八

（備考）（輸出ほリンターを含むも其他は含まず）

消費高	輸出高	紡績手持	倉庫在荷	運轉錘數
昨年二月	五九〇	六三〇	一、七四七	三、八七六	三、一〇〇八
十二月	四五四	九二一	一、八四四	五、九一四	二、九一〇
本年一月	五七七	七四一	一、八三〇	五、四〇七	二、九一、九八
二月	四九五	四一三	一、八二三	四、八九九	二、八、九二七

アメリカ二月中の棉花消費豫想

ニューヨーク　三月十二日(水)

國勢局調査の二月中のアメリカ棉花消費高は來る十四日發表の筈であるが、アメリカン棉花通信は右豫想を四十八萬七千俵と發表した。

（備考）國勢局調査の一月中のアメリカ棉花消費高は五十七萬七千俵、昨年二月は五十九萬八千俵であつた。

ニューヨーク綿糸相場

ニューヨーク　二月十一日　二月十八日(郵便)

二〇手單糸	三〇仙五〇	三〇仙五〇
四〇手二合撚 (Average Grade)	四七・〇〇	四七・〇〇
六〇手同(Combed)	六〇・五〇	六〇・五〇

アメリカ綿布統計

ニューヨーク　三月十日(月)

ニューヨーク綿織物組合發表、本年二月中のアメリカ標準綿布統計は左の通り。

（單位千ヤード）

	本年累計	昨年同期
生産高	六三五、六七九	五九〇、一三六
販賣高	六七七、七八七	五三五、九〇〇
積出高	六五四、四七二	六六、〇〇〇
月末註文殘高	四七二、一七六	—
月末在荷高	三七二、九五〇	—

最近三ケ月間の統計は左の通り。

（單位千ヤード）

	生産高	販賣高	積出高
昨年二月	三九二、八七三	三四〇、七〇九	三九、一一八
十二月	二四三、七三五	三〇二、九三四	二四一、一四八
本年一月	三三三、二六七	二九二、〇〇〇	三三一、五〇〇
二月	二六六、八四九	二四三、九〇〇	二四七、五〇〇

	月末註文殘高	月末在荷高
昨年二月	四七一、一七六	三七一、九五〇
十二月	四三一、〇〇八	四六一、〇一三
本年一月	三九一、八〇〇	四五二、八〇〇
二月	三六〇、九〇〇	四四五、一〇〇

（備考）右統計はニューヨーク綿織物組合並に綿織物協會の共同調査に係るもので、調査範圍はアメリカの標準綿布三百種に亘りアメリカ綿製品界の大勢を一目瞭然たらしめたものである。

リヴアプール棉花市況

リヴアプール　三月十五日(土)

現物の需要は一般に見直した。定期市場は依然神經過度の狀態にある。然し安値には買ひ氣が潜んで居るので、氣配は見直して居る。十四日(金)にはニューヨークが騰つたので本日は各方面から買ひ支へが出て居る。

マンチエスター綿糸布市況

マンチエスター　三月十二日(水)

綿布も綿糸も人氣は大分よくなり引合も增加した。然しそれは主として瀨踏的のものである。綿糸の相場は左の通り。

二〇手	二片半—三片半
三〇手	三・半—三・半
四〇手	四・—四・半
六〇手(エヂプト棉)	三・—三・

マンチエスター　三月十五日(土)

△綿布　最近の安値には買ひ手は稍々氣乘りして來た。而して商談は幾分增加したらしいが、然し實際の出來高は依然極めて少い。インドからは小口註文が相當あつたが、支那からはホンノ時折引合があるのみである。其他の市場の需要も概して振はない。目先の市況も餘り好望ではない。インド綿布關稅特に生地綿布の關稅問題に對しては依然前途悲觀の人氣が濃い。

△綿糸　市況は幾分良好となり、取引も若干增加した。之は主として太番手の上物に對してである

エヂプト棉は引續き頗る閑散である。

マンチエスター商業會議所印度關稅に抗議を憚る

マンチエスター　三月十日(月)

マンチエスター商業會議所會頭ハーバート・リー氏は綿業團體共同委員會の意見を代表して本日左の如き聲明書を發表した。

インドの綿布關稅引上げに關し吾々としてランカシアのためにこれ以上の運動をなすことは出來ない。インドの關稅引上げは實際我々を甚だしく狼狽せしめた。然しインド政府はイギリス品以外のものに五分の保護稅を課せんとしてゐる。この五分の特惠は一般率の引上げによるランカシアの不利を償ふにはなほ不十分であるが、吾々としてはイギリス以外の他國品に保護稅を課せんとするインド政府の意のある所を認めない譯には行かない。

イギリス綿織物組合設立登記

マンチエスター　三月十二日(水)

標準綿布の大量輸出を以て、失はれたる海外市場の回復を圖るべく、先頃來イギリス綿織物組合を組織中であつたが、右は今回愈設立登記を了した。組合の理事の中には綿業各方面の代表者及び勞働者の代表も含まれてゐる。

（備考）右組合の組織は本年の通頁五九頁及七〇頁を參照。

（昭和五年三月九日——十五日發信）

株式場相

ニューヨーク

三月	スチール株（百弗）	アナコンダ株（五十弗）	鐵道株二十種平均	工業株三十種平均	モントゴメリ・ワード株（新株）	ラヂオ・コーポレーション（新株）	ゼネラル・モータース（十弗）	諸株出來高
	弗	弗	弗	弗	弗	弗	弗	萬株
十 8（月）	八一・四分三	七四・八分七	一五二・五〇	二七六・八五	四六	五〇・八分一	四四〇・八分一	四〇〇
十一 8（火）	八一・四分三	七四・四分一	一五二・五四	二七六・二五	四五・二分一	五一・四分一	四五・八分五	三五〇
十二 8（水）	七九・八分三	七三・四分一	一五一・一六	二七二・一三	四四・八分一	五〇・四分一	四四・八分五	四五〇
十三 8（木）	八〇	七一・四分三	一五一・八四	二七三・四七	四四・二分一	五一・二分一	四四・二分一	四〇〇
十四 8（金）	八一	七〇	一五一・〇八	二七一・三四	四三・二分一	五一・八分一	四五	四〇〇
十五 8（土）	七九・二分一	七〇・八分五	一五一・三六	二七〇・二五	四三・八分五	五〇	四四・二分一	一五〇

大阪

三月		當限先限 紡績	當限先限 紡績新	當限先限 大株	當限先限 大株新	當限先限 郵船
		円	円	円	円	円
十 8（月）		二〇四・一〇	八七・五〇	六八・五〇	五三・六〇	—
十一 8（火）		二〇一・〇〇	八五・八〇	六七・八〇	五三・三〇	五三・五〇
十二 8（水）		二〇〇・六〇	八五・八〇	—	五三・〇〇	—
十三 8（木）		二〇〇・七〇	八五・五〇	六八・三〇	五二・八〇	五一・四〇
十四 8（金）		二〇〇・五〇	八五・三〇	六七・九〇	五一・六〇	—
十五 8（土）		一九八・六〇	八四・三〇	六八・三〇	五二・三〇	—
十五 8（土）		一九九・九〇	八六・一〇	六八・二〇	五二・八〇	五二・七〇
十五 8（土）		一九九・七〇	八五・二〇	六八・三〇	五二・四〇	五一・一〇
十五 8（土）		一九七・七〇	八五・〇〇	六八・五〇	五二・〇〇	五一・一〇
十五 8（土）	當限先限	二〇四・一〇	八七・五〇	六八・五〇	五三・六〇	—
十五 8（土）	當限先限	二〇一・〇〇	八五・八〇	六七・八〇	五三・三〇	五三・五〇
十五 8（土）	當限先限	二〇〇・六〇	八五・八〇	—	五三・〇〇	—
十五 8（土）	當限先限	二〇〇・七〇	八五・五〇	六八・三〇	五二・八〇	五一・一〇
十五 8（土）	當限先限	二〇〇・五〇	八五・三〇	六七・九〇	五一・六〇	—
十五 8（土）	當限先限	一九八・六〇	八四・三〇	六八・三〇	五二・三〇	—
十五 8（土）	當限先限	一九九・九〇	八五・〇〇	六八・二〇	五二・八〇	五二・七〇
十五 8（土）	當限先限	一九九・七〇	八六・一〇	六八・三〇	五二・四〇	五一・一〇
十五 8（土）	當限先限	一九七・七〇	八五・二〇	六八・二〇	五二・〇〇	五一・一〇
十五 8（土）	當限先限	二〇四・一〇	八七・五〇	六八・五〇	五三・六〇	—
十五 8（土）	當限先限	二〇一・〇〇	八五・八〇	六八・三

棉花相場

三月 十日(月) 十一日(火) 十二日(水) 十三日(木) 十四日(金) 十五日(土)

ニューヨーク

（一封度建）

三月限	五月限	七月限	十月限	十二月限	一月限	現物
仙	仙	仙	仙	仙	仙	仙
一三・八九	一四・一〇	一四・二九	一四・四一	一四・六三	一四・六八	一四・〇〇
一三・九一	一四・三九	一四・四六	一四・六四	一四・八五	一四・九一	一四・〇〇
一四・四六	一四・四六	一四・五六	一四・六四	一四・八四	一四・六四	一四・〇〇
一四・六二	一四・八一	一四・八二	一四・九四	一五・一三	一五・一九	一五・三五
一四・七六	一四・六六	一五・〇六	一五・〇九	一五・二〇	一五・二〇	一五・三〇
一五・一七	一五・一一	一五・三一	一五・三二	一五・三五	一五・三〇	一五・三〇
一五・二三	一五・二〇	一五・四二	一五・四七	一五・四七	一五・四七	一五・四七
一五・四七	一五・四七	一五・五五				

ルーブアヴリ

（一封度建）

五月限	七月限	十月限	現物
片	片	片	片
七・六五	七・六五	七・七六	七・九〇
七・六六	七・七〇	七・七六	七・八八
七・七七	七・七一	七・七六	八・〇六
七・七七	七・八一	七・七五	八・〇五
七・九六	七・八三	七・九〇	八・〇八
	八・〇三	八・〇五	八・一二

アレキサンドリヤ

（一カンター建）

三月限	五月限	四月限	六月限
タラリ	タラリ	タラリ	タラリ
二七・五〇	二八・〇六	一九・八四	一九・八四
二七・五〇	二八・〇六	一九・四一	一九・八四
二七・五〇	二八・〇七	一九・四一	一九・八四
二七・五〇	二八・〇五	一九・四〇	一九・八五
二七・五〇	二八・〇四		
休			

ボンベイ

（一キャンディ）

ベンゴール		オムラ		ブローチ	
三月渡	五月渡	三月渡	五月渡	四五月渡	七、八月渡
留比	留比	留比	留比	留比	留比
一七七	一八〇	一九八	二〇六	二四三	二五八
一七九	一八三	二〇一	二〇九	二四六	二六〇
一八六	一八九	二一〇	二一七	二五四	二六八
一八四	一八四	二〇七	二一四	二五〇	二六三
一八二	一八七	二一七		二五二	二六六
休					

大阪

米棉十俵（三十六擔）建

三月限	四月限	五月限	六月限	七月限	八月限	九月限
円	円	円	円	円	円	円
四四・四四	四四・六五	四五・二五	四五・四五	四五・八五	四六・一五	四六・二五
四三・九五	四四・三〇	四四・七〇	四四・九〇	四五・三五	四五・五〇	四五・五〇
四四・三五	四五・〇〇	四五・〇〇	四五・〇〇	四五・〇〇	四六・〇〇	四六・〇〇
四四・一五	四五・一〇	四五・二〇	四六・一〇	四六・一〇	四六・一〇	四六・一〇
四四・八〇	四五・四〇	四五・四〇	四五・四〇	四五・四〇	四六・三〇	四六・三〇
四五・五五	四六・一五	四六・一五	四六・一五	四六・六五	四七・一五	四七・一五
四六・一五	四六・四〇	四六・六〇	四六・八〇	四七・〇〇	四七・六五	四七・八〇
						四八・〇〇

生絲相場

三月 十日(月) 十一日(火) 十二日(水) 十三日(木) 十四日(金) 十五日(土)

ニューヨーク

（定期、一封度建）

三月限	四月限	五月限	六月限	七月限	八月限	九月限	十月限	出來高
弗仙	弗仙	弗仙	弗仙	弗仙	弗仙	弗仙	弗仙	俵
四・五一	四・四七	四・五三	四・三八	四・二八	四・二六	四・二五	四・二五	五〇〇
四・五四	四・四六	四・五四	四・三三	四・二四	四・二四	四・二五	四・二五	五〇〇
四・四四	四・四六	四・四四	四・三四	四・二一	四・二一	四・二五	四・二五	五〇〇
四・四二	四・三〇	四・四三	四・二九	四・一七	四・一七	四・二五	四・二五	七八〇
四・四〇	四・三一	四・二九	四・二五	四・一六	四・一六	四・二五	四・二五	五〇〇
四・四一	四・三三	四・二七	四・二四	四・一五	四・一五	四・二五	四・二五	二五〇

市場中

	十四中	十四中	廿一中	廿一中
ベスト	XXX	XXX	日本糸	日本糸
スクラット	XXX	XXX	同黄	同白
弗仙	四五・五〇	四五・五〇	四五・五〇	四五・五〇

イギリス二月中の綿糸布輸出高

ロンドン 三月十二日（水）

△綿布（千平方碼）

	本年累計	昨年同期
輸出總額	三〇〇、〇〇〇	七〇五、四一三
印度	一三四、九八五	二六〇、九五五
支那	一〇、四四九	二八、八二一
日本	七四四	一、七三五
歐大陸（含スペイン）	二六、三六四	四八、九六九
地中海	七、一〇七	二〇一
ジャワ	三、三五三	五七、七八四
新嘉坡	三〇、七九七	五七、四〇一
南米		一五、五六〇
		六、九三〇
		四五、八〇一

△綿糸（千封度）

	本年累計	昨年同期
輸出總額	一三、三三六	三五、四〇三
印度	一、五四四	三、一七六
支那	一、二六	四、五六二
歐大陸	七、三九三	二五三
		三〇九
過去六ケ月間の月別統計左の如し（單位綿布十平方碼、綿糸千封度）		一五、三六九
		八、五一九

	綿布 インド	綿布 支那	綿糸 インド	綿糸 支那
昨年九月	八九、八五五	七、五五五	一、二八八	一、三六
十月	九二、三九	七、七〇一	一、四三五	一八〇
十一月	一〇四、五六一	一、一二六	一、四二一	一、一六
十二月	一〇〇、九六四	一、六一三	一、二六八	一一〇
本年一月	一三六、一一〇	八、一七五	一、六三一	一、三六
二月	一三四、九八五	一〇、四四九	一、五四四	一、二六

	綿布 地中海	綿布 ジャワ	綿布 新嘉坡	綿布 南米
昨年九月	八、一七	五、六三五	六、〇四四	三、三五三
十月	二五、九五〇	七、九六六	五、八二一	二五、四〇九
十一月	二一、五三六	八、四五五	四、三四七	八、五七七
十二月	二一、四一〇	七、八六七	三、九七七	三、七四三
本年一月	二一、九八五	八、五五三	二、三七七	二四、八〇四
二月	二六、三〇七	七、二〇七	三、三五三	二〇、七九七

イギリス二月中對日紡織機械輸出高

ロンドン 三月十二日（水）

イギリス商務省發表、二月中にイギリスより日本へ輸出した紡織機械は左の如し。（單位トン）

二月	七〇〇
本年累計	一、四三一
昨年同期	一、六二四
一昨年同	一〇五

（備考）（單位トン）

昨年二月	七四四
十二月	五五九
本年一月	七五一
二月	七〇〇

ボンベイ棉花市況

ボンベイ 三月十五日（土）

先物は下げ足は遲いが上げ足は早い週初めは米棉安ていふ軟材料があつたに拘らず當市場は頗る手堅い成行を示した。

ブローチは米棉より六ルーピー方上鞘にある。氣配が斯く聢りしてゐるのは印棉の需給統計强硬と見て輸出商、地場紡績の需要が良くなつたためである手持筋の腰は頗る强い。

現物にも引續き好需あり、取引出來高も相當多量に上つた。

ボンベイ綿糸布相場

三月十五日（土）

晒金巾二五〇番ライブマン 一八留比四分一
生金巾二〇〇番ファリ 八留比二分一
粗布三〇ヤード龍C 六留比八分五
二〇手綿絲 一〇アンナ二分一
一〇手綿絲 七アンナ

濠洲の棉花栽培奬勵

シドニー 三月十三日（木）

オーストラリア政府の棉花栽培奬勵金は本年七月末を以て期限滿了となることになつてゐたが、今回首相スカリン氏の發表によれば政府は八月より更に五ケ年、即ち一九三六年迄延長せんとしてゐる。

現行の奬勵金額は棉花一封度に付三ペンス半乃至一ペンスである。

世界綿業統計

マンチェスター 三月十二日（水）

萬國紡織聯合會發表、一九二九—三〇年度上半期（一九二九年八月一日より一九三〇年一月廿一日に終る半ケ年）の世界綿業統計は左の通り。

▲棉花消費高（單位千俵）

	一九二九年八月—三〇年一月	一九二九年八月—二—七月	一九二八年八月—一九二九年一月
米棉	七、〇八三	七、四六三	七、六三二
印棉	二、九八五	二、六〇四	二、五三四
エヂプト棉	五〇一	二、四九二	四九七
その他	二、六三二	二、四五五	二、八四
合計	二、一〇一	二、〇一四	二、八六八
△國別			
イギリス	一、四二五	一、三六〇	一、四四〇
ドイツ	六七六	五八四	七二四
フランス	五八九	六一四	六三三
イタリー	一、一二六	一、〇九四	一、〇九八
ロシア	五三三	五二四	五八八
チエッコ	二四四	二四四	二五一
インド	一、一六四	一、〇一八	九七九
日本	一、四五四	一、一二二	一、三四一
支那	一、〇九三	一、〇一三	九四四
アメリカ合衆國	三、二八九	三、六一五	三、四二八

▲紡績棉花手持高（單位千俵）

	一九三〇年一月末	一九二九年七月末	一九二九年一月末
△種類別			
米棉	二、七四一	二、二九	二、五八八
印棉	一、七三	一、七六一	一、二六
エヂプト棉	三三四	三三六	八二一
その他	七九二	七九五	九五五
合計	四、九二一	四、八六三	五、二九四
△國別			
イギリス	二三六	一七七	二〇九
ドイツ	一六九	八三	一〇一
フランス	二七六	三三〇	二七一
ロシア	二〇四	二四四	三四〇
イタリー	二四八	二一七	二二五
チエッコ	六三	六六	七三
インド	六四九	九三六	七二三
日本	二、一九一	一、二四四	一、二四四
支那	一、〇三三	一、〇一八	一、〇一三
アメリカ合衆國	三、二八九	三、六一五	三、四二八

▲據付錘數（單位千錘）

	一九三〇年一月末	一九二九年七月末	一九二九年一月末
日本	三九一	三四五	五五二
支那	一、八二一	一、〇三五	一、七五六
アメリカ合衆國	七七三	三六	三九
世界總計			
イギリス	一六五、〇六三	一六四、二二一	一六五、一〇四
ドイツ	五六、二七七	五五、九一七	五六、七四八
フランス	一一、一六〇	一一、一二五	一一、一五五
ロシア	九、九九一	九、八八〇	九、八八〇
イタリー	七、六二四	七、四六五	七、三五七
チエッコ	五、三七七	五、二一〇	五、二二七
インド	三、六六三	三、六三一	三、六六一
日本	八、八〇七	八、七〇四	八、七〇四
支那	六、八三七	六、五三〇	六、四三六
アメリカ合衆國	三、六九九	三、六〇二	三、五一六
	三四、六二二	三四、八二九	三五、三三五

▲操短週數

	一九二九年八月—三〇年一月	一九二九年八月—二九年一月
	七週〇九二	四週三九三
イギリス	二・三六六	一・九七六
ドイツ	一・三六八	〇・八九七
フランス	二・六三〇	不明
ロシア	一・三三〇	〇・七四〇
ベルギー	三・九三〇	三・六一六
イタリー	八・一九一	七・二一〇
オーストリア	三・〇九一	三・〇七二
日本	二・一三〇	九・九八二

操短週數の統計は一週の操業を四十八時間とし、半ケ年即ち二十六週間の內幾週總紡機が休錘したかを示すものである。而して日本の休錘週數の割合に長くなつてゐるのは次の原因に基く、即ち日本の一週の操業時間は長く、昨年迄は一週百二十時間にも達してゐた。然るに右の休錘總數は一週四十八時間としての勘定である。故に日本勘定によつつて休錘週數を算出すればずつと短かくなる譯である。

なほ昨年二月より七月に至る半ケ年の操短週數は發表されなかつた。

支那でも糸價救濟運動起る

上海 三月十日（月）

銀價暴落に伴ふ製糸界不振のため江蘇、浙江、安徽三省の製糸業者は九日大會を開きその救濟方法を協議したがその結果日本政府の糸價補償案實施を引用して同樣の救濟方法をこられたしと南京政府に請願を決議した。一方支那經營の紡績業方面も同樣破產に瀕する者續出し延いて勞働爭議續出しつゝあるので日本側紡績にも波及の惧れあり可成り警戒されてゐる。

日華紡職工罷業

上海 三月十五日（土）

當地日華紡績、喜和工場職工二千四百名は今朝より罷業した。原因は撚糸工場の整理職工復活を要求してである。但し職工側の態度强硬で急に解決しそうにない。

上海綿絲相場

△華商紗布交易所大引（支那糸右一六手一梱建）

三月十日（月）	三月限	八月限
十一日（火）	一五七兩四匁	一五五兩一匁
十二日（水）	一五五兩九匁	一五四兩一匁
十三日（木）	一五五兩九匁	一五四兩三匁
十四日（金）	一五五兩八匁	一五四兩〇匁
十五日（土）	一五五兩一匁	一五三兩〇匁
	一五五兩一匁	一五三兩五匁

生絲

ニューヨーク生糸反撥

ニューヨーク 三月十三日（火）

市況は頗る閑散である。日本の糸價安定策も買ひ手の態度に何等の變化をも齎らさず買ひ手は引續き頗る警戒してゐる。市況が近く見直さぬ限り三月中の取引總額は例年より著しく少くなりそうである。一部絹織業者はレーヨンを更に多量に使つてゐる。支那生糸は稍活氣薄となつた。

△絹製品 需要は增加してゐる。賣り手の競爭は非常に激しく、從つて容易に値引させることが出來る。

△レーヨン 賣行は更によくなつた。

アメリカ・レーヨン從量稅引下案可決

ワシントン 三月十三日（木）

本日アメリカ上院は關稅改正案中レーヨンに對する現行從量稅一封度に付四十五セントを四十セントに引下げる案を三十二票對三十四票で可決した。但し右の引下げを行つても現行從價稅四割五分よりはなほ高い。

アメリカ濠洲に靴下工場設立

ニューヨーク 二月十四日（郵便）

靴下及肌着製造業會社として著名なアメリカのヂューリアス・ケーザー商會（Julius Kayser and Co.）は今回オーストラリア、メルボルンに新靴下工場を設立、五月初めより仕事を初めることになつた。最初の製造高は一週一千足の豫定である。

（備考） 右はオーストラリアが絹製品の關稅を段々引上げて行く結果であらう。

イギリス二月中の對日生糸絹織物輸入高

ロンドン 三月十二日（水）

イギリス商務省發表、二月中にイギリスが日本より輸入した生糸及絹織物左の如し（單位生糸は封度、絹織物は千平方碼）

	本年累計	昨年同期
生糸	五五、七〇〇	一五一、〇〇一
絹織物	一、一八八	一、六九〇

（備考）

	生糸	絹織物
昨年二月	五六、三一四	八七〇
十二月	五三、七六一	六四七
本年一月	一五五、四八七	一、六八八
二月	五五、七〇〇	一、一八〇

ロンドン生糸相場

上海七里經絲（再繰絲）	三月十一日	十五日
廣東新式絲羊印（同）	二志	二志
リヨン經絲駝鳥印	二志	二志
同	一〇志四分三	一〇志四分三
太陽印	一〇志四分一	一〇志四分一
日本機械糸飛切	一九志四分一	一九志
同 細絲	一八志二分一	一八志四分一

リオン生糸相場

（一キログラムに付）

	三月十二日	十五日
日本糸十四中	二五七法	二六七法
支那機械糸XA太陽鷲印十三中—廿二中	二七二法	二七二法
廣東糸良一番十四中	一五五法	一六〇法

油脂

ロンドン油脂市況

ロンドン 三月十五日（土）

△亞麻仁 引弛んでゐる。これは亞麻仁油が安いのとインド亞麻仁の賣り物が多い爲めである。

△亞麻仁油 相場はドがつたが週末には安値に稍々買ひ氣がついて來た。

△菜種 初め見直したがその後買ひ手皆無の爲め再び引弛んだ。

△滿洲大豆 相場が下がること相當需要が現はれてゐる。

△大豆油 閑散、然し相場は保合つてゐる。

ニューヨーク植物油相場

ニューヨーク 三月十二日（水）

（現物、關稅濟）		
亞麻仁油	（粗製、タンク渡）	一ガロン 九六仙
	（紐育）	
菜種油	（精製、樽入）	同 六九仙
	（細育甲板渡）	上 八仙四分一
棉實油	同	一封度 七仙
同	上（粗製、タンク渡）	同 九仙
	（紐育）	同
大豆油	同、太平洋岸	同 二仙四分一
落花生油	東洋品	同
	粗製	同
椰子油	（錫蘭級）	同 六仙八分三
支那桐油	（樽入、太平洋岸甲板渡）	同 九仙八分七
荏油	（同 上）	同 二仙
蓖麻子油	（第三號樽入）	同 二仙四分三
	（紐育甲板渡）	

（棉實油定期相場は第五頁にあり）

ロンドン大豆油相場

（東洋品、バルク積百十二封度）

三月十五日（土）	三、四月積 賣手	二六志四分三
	四、五月積 同	二六志四分三

△滿洲大豆（一トンに付）

三月十日（月）	三月積 賣手	八磅一五志
	四月積 同	八磅一五志
十三日（木）	三月積 同	八磅一三志四分三
	四月積 同	八磅一三志四分三
十四日（金）	三月積 同	八磅一三志二分一
	四月積 同	八磅一三志二分一

△トリヤ菜種（c.i.f. ロンドン）

三月十日（月）	三、四月積 賣手	一四磅
十一日（火）	三、四月積 見當	一四磅
十二日（水）	三、四月積 賣手	一四磅
十三日（木）	三、四月積（賣手値段（で出來値））	一三磅四分三
十四日（金）	三、四月積 賣手	一三磅四分三
十五日（土）	三、四月積 同	一三磅四分三

ハルビン豆粕相場

△市中相場邦貨換算（f.o.b.浦鹽渡百斤建）

		出來値	豆粕
三月十日	（月）	三圓四六錢	
十一日	（火）	同	三圓五五錢
十二日	（水）	同	三圓五十錢
十三日	（木）	同	三圓六十四錢
十四日	（金）	同	三圓五六錢
十五日	（土）	同	三圓五十一錢

大連三品出來高

（大連重要物產取引所定期賣買出來高）（單位大豆油百磅、大豆一車、豆粕千枚）

		豆油	大豆	豆粕
三月十日	（月）	四四五	一、六二三	三一三
十一日	（火）	二七五	九三一	三二八
十二日	（水）	二二五	四九八	二五五
十三日	（木）	二三五	五九三	二九〇
十四日	（金）	二二五	三七五	一七八
十五日	（土）	九五	六二一	一二三

カルカツタのジュート職工罷業

カルカツタ 三月十日（月）

當地近郊チタゲール地方（Titaghur）に於てジュート工場職工二萬人がストライキを行つた。直接原因はベンゴール・ジュート職工組合の會長並に書記長が違警罪で拘引され、右組合が騷ぎ立てたことにある。なほバラックプールでも二千人の職工が罷業してゐる。

カルカツタ 三月十一日（火）

カルカツタ近郊チタグールのジュート工場職工罷業はその後擴大し罷業職工は目下三萬五千人に上つてゐる。職工は同地警察署を襲擊し警官と小競合を行つた結果双方に若干負傷者を出した。

砂糖

ニューヨーク砂糖市況

ニューヨーク　三月十五日(土)

△粗糖　精製糖の荷動きが増加したため、延いて粗糖の需要も活潑になつた今週の市中取引出來高はポルトリコ糖三十六萬袋、フイリツピン糖二十九萬七千袋、キューバ糖（在庫糖）十萬五千袋、合計七十六萬二千袋の多きに達した。

キューバの共同輸出機關はアメリカへCF二セントで十五萬トンを賣つたとの噂がある。又ロシアも大量買ひ付けについてキューバと交渉中であると傳へられる。その總額は五十萬トンの多額に達し、値段はFOBキューバ一封度に付一セント五〇であると。

アメリカ上院が最近キューバ糖に對し二セントの輸入課稅案を採擇したに關し、これが再考を求めんとする運動があつたが、これは成功しなかつた。

△精製糖　前週末會社賣り値が四セント七〇に引下げられるや買ひ物頓に活況を呈し、當業者は百萬トン以上買ひ付けたと傳へられる。その結果値下げは一日間に止まり、直ちに五セントに値上げされた。

キューバ糖 賣値二セント維持

ハヴアナ　三月十三日(木)

キューバの共同輸出機關は、アメリカに賣るべきキューバ砂糖に對し全部一封度に付二セントの賣り値を維持し、それ以下の買引合を全部拒絕するに決した。此相場は今後輸出機關の標準値段となるであらう。

ロンドン砂糖市況

ロンドン　三月十五日(土)

ニューヨークに伴れて小昂りを呈してゐる。

△粗糖　氣配は依然閑散乍ら相當商内が出來たらしい。

△精製糖　イギリス糖は引合良好で精製糖會社は賣り値を百十二封度に付三ペンス方引上げた。外國糖は期近物に買ひ氣が幾分増してゐる。

△定期市場　白糖は頗る薄商内であつた。粗糖もあまり活氣がなく相場の動きも極めて小刻みである。

イギリス 植民地製糖業救濟

ロンドン　三月十四日(金)

イギリス植民地事務大臣シドニー・ウエツブ氏は西インド及モーリシアス總督に對して左の如き電報を發した。

金融業者が來年糖援助の爲め貸付を行ひ損失を蒙つた場合、若し植民地政廳が損失額の半額を補償すれば、イギリス政府は植民地政廳の損失額の半額を補償する但しその補償額は西インドに對し最高三十萬ポンド迄、モーリシアスに對し二十萬ポンド迄とす。

イギリス 月中の砂糖消費高

ロンドン　三月十五日(土)

イギリス商務省は本年二月中のイギリス砂糖消費高を左の通り發表した。

精製糖	三、三七トン
粗糖	三四、四七五
合計	三七、八〇二

（備考）本一、二月の消費高合計は二十五萬六千五百六十二トンとなる。之を過去の數字に比較すれば左の通りである。

一九二八年一—二月	三三、一〇三トン
二九年同	三三五、八五四
三〇年同	二五六、五六二

スペインで大精製糖會社設立

コルトヴア　三月十五日(土)

スペインのセヴイル州及コルドヴア州の金融團は今回資本金五百萬圓の精製糖會社を設立した。

自五月至二月 ジャワ糖荷動統計

スラバヤ　三月十三日(木)

（單位トン、一トンは一、〇〇〇キログラム）

	前年同期	前々年同期	昨年二月末
輸出港	二九四、一七〇〇	二九八六、三五九	二三五、七八九七
出廻高	二九四、一七〇〇	二九八六、三五九	二三五、七八九七
内トラスト工場品	二六五、七七〇〇	二七、〇〇七	二、一七七、七九九
加盟工場品	二六五、〇〇〇	二六六、三三一	二、〇〇九、九八
外工場品	二、六四三〇〇	二四七、三六三	一、九四八、七一八
輸出高	二七〇〇〇〇	二七四、三一〇	一〇三、八〇〇
島内消費高	五、七三〇〇	二四五、二一七	二六九、七九一
輸出港在荷	四五七、二〇〇	一九〇、三九七	三九、二五一
輸出可能量			

右輸出可能量は自本年三月至四月末迄

ジャワ二月中の砂糖輸出高

スラバヤ　三月十三日(木)

（單位千トン、一トンは千キログラム）

	昨年二月	本年一月	本年二月	今季累計	前年同期
スエズ以西諸國	●四	二八・六	八一・五	八八・〇	二五七・六
インド	八一・五	八八・〇	二〇・三	一〇二・七	二八三・一
香港	二〇・三	二五・七	二四五・五	二九三・一	二四一・九
支那	五三・四	一七・四	二三・八	二九・八	二一・四
日本（含臺灣）	一七・四	二〇・四	一六九・五	二一三四・一	二四五・一
其他諸國	二〇・四	一九三・四	二一三四・一		
合計	一九三・四				

小麦

シカゴ小麦市況

シカゴ　三月十五日(土)

相場は急落した、これは世界の輸入需要が急激に減退したとの民間豫想があるのとアルゼンチン、オーストラリアに潤雨があつたゝめである。アメリカ冬小麦の形勢は良好でこの調子では收穫高は過去の平均以上になるだらうと見られる。然し西南部地方には害蟲ヘシアン、フライが現はれ且つ濕氣が不足だとの報がある。然しこの地方にはその後潤雨があつた。

農事局は引續きシカゴ及び西南部諸市場で主として五月限の買ひ支えに出てゐる。然し最近にはミネアポリスの現物市場からは手を引いた。これはエレベーターが一杯でスペースがないからである。

小麦は愈々作柄惡化の季節に入つた當業者は作柄の成行を注視してゐる。殊に目下シカゴの相場が世界中で一番高くなつてゐるので、當業者の作柄懸念は一層濃厚なのである。

小麦相場の下落

シカゴ　三月十二日(水)

本日シカゴ小麦相場は一時三セント以上暴落した。之は次の原因による。

一、リヴアプール小麦が崩落した事。

一、聯邦農事局委員長レッグ氏が集散地に於る小麦滯荷は今後減少するよりもなほ増加する傾向があると發表したこと。

又レッグ氏の見込みによると聯邦農事局は今季末には約一億ブッセルの小麦を手持ちすることゝならうと。一方輸出需要の増加は期待出來ない。それはヨーロッパの輸入需要が過去八ケ年來の少額を示してゐるためである。

午後になつて相場は幾分引戻した。これはミゾリー、カンサス及びモンタナの諸州より天候不良の報があつたゝめである。然し大引相場は前日に比しなほ四分の三セント乃至二セント安を示してゐる。

アメリカ三月一日現在 小麦農家手持高

ワシントン　三月十日(月)

アメリカ農務省は三月一日現在の小麦農家手持高を左の通り發表した。

農家手持高　三九、二五三、〇〇〇ブッセル

（備考）アメリカ農務省調査による過去の農家手持高左の通り。

一九二八	三〇、九四四千ブッセル
二九	一四八、八一三
三〇	三九、二五三

農事局の資金増加

ワシントン　三月十二日(水)

聯邦農事局は最近小麦救濟のため資金の不足を生じ、豫て議會に更に一億ドルの支出方の要請中の所、上院は本日これを承認した。

インド小麦反別豫想

カルカッタ　三月十二日(木)

インド政府統計局は二九—三〇年度小麦植付反別第二回豫想を左の通り發表した。

植付反別　二九、八七一、〇〇〇エーカー

これを過去の數字に比較すれば左の通りである。

一九二七—二八	三、三二一千エーカー
二八—二九	三、〇二一
二九—三〇（豫想）	
第一回	三〇、四〇九
第二回	二九、八七一

上海麻相場

（現物一擔建）

三月			
十一日(月)	賣手	同	三兩六匁八
十二日(火)	同	同	三兩六匁七
十三日(水)	同	同	三兩六匁五
十四日(木)	同	同	三兩六匁五
十五日(金)	同	同	三兩六匁二
十五日(土)	同	同	三兩六匁〇

ゴム

ロンドン・ゴム市況

ロンドン　三月十五日(土)

五月中ゴム液の採取中止案には每々各方面から贊成の申込みがある。和蘭からの報道によると既にその贊成者は必要なる數、即ち七萬に達したと。一方イギリス、ゴム栽培業者組合に加入してゐるゴム園主は殆ど全部右案に贊成して來るものと思はれる。乍然、市場は買ひ物が少く相場は下押した。殊に週初めには然りであつた。これは在荷が増加したゝめである。然し安値にはアメリカから相當纒つた買ひ物が出た。之が爲め氣配は最近落付を見せてゐるが、週末には又復鈍狀となつた。

ビルマ・ゴム限産參加

ロンドン　三月十日(月)

イギリス・ゴム生産者組合は本日ビルマより左の電報を接受した。

ビルマ商業會議所ゴム栽培委員は各地方栽培業者に回狀を發し、五月中ゴム液採收を中止する案を採用せんことを勸告した。

海峽植民地ゴム在荷

シンガポール　三月十二日(水)

二月末に於る海峽植民地商人ゴム手持は四萬二百九十三トンと發表された。尙この中には濕潤重量によつたものもあるので、之を全部乾燥重量に換算すると三萬九千三百三十三トンとなる。

（備考）（單位トン）

	商人手持高	乾燥重量
昨年二月末	三四、二三	—
十二月末	三五、六〇七	—
本年一月末	三六、一四九	三四、七二
二月末	四〇、二九三	三九、三三

アメリカ二月中のゴム需給統計

ニューヨーク　三月十四日(金)

アメリカ・ゴム協會調査（單位トン）

	本年累計	昨年同期	同月末在荷高	昨年同期
輸入高	四三、七〇〇	一二六、八〇〇	九〇、一〇〇	六三、八〇〇
消費高	三二、七〇〇	八四、六〇〇	九〇、一〇〇	六二、四〇〇
米國向輸送中	六三、四〇〇	六九、四〇〇	一〇五、一〇〇	六二、九〇〇
米國向輸送中	六三、四〇〇	—	一〇〇、六〇〇	六一、九〇〇

なほ過去の月別統計左の如し。

（單位トン）

	輸入高	消費高	在荷高	米國向輸送中
昨年二月	六四、五〇〇	四一、六〇〇	九〇、一〇〇	六三、八〇〇
十二月	四三、五〇〇	三三、五〇〇	一〇五、一〇〇	六二、四〇〇
本年一月	四七、五〇〇	三六、七〇〇	一〇〇、六〇〇	六一、九〇〇
二月	四三、七〇〇	三一、七〇〇	一〇一、七〇〇	六三、四〇〇

右の内消費高に限り昭和四年六月以降はアメリカ政府調査の數字。

シンガポール ゴム競賣成績

シンガポール　三月十二日(水)

		前週
△賣出高	六七九噸	一、〇六〇噸
△賣上高	五五一噸	九三噸

▲競賣相場（最高値、一封度に付）

クレープ（グッドペール）		二五仙四分三
シート（グッドアベレーヂ・クオリティ・リブド・スモーク）		二四仙四分三

船舶

ロンドン海運市況

ロンドン　三月十一日(火)

市況は頗る閑散。主なる成約運賃は左の通り。

サンロレンゾ＝イギリス、歐大陸

雜穀	五、七〇〇トン	三月積	十一志四分一

サンタフエ＝地中海

雜穀	五、五〇〇トン	直積	十志

ロザリオ＝ロンドン、ハル

雜穀	五、六〇〇トン	三月積	十志四分三

ブエノスアイレス＝イギリス、歐大陸

雜穀	七、〇〇〇トン	三月積	十志

西オーストラリア＝イギリス歐大陸、地中海

雜穀	八、〇〇〇トン	四月積	廿三志

西オーストラリア＝カルカッタ、ランゴーン

雜穀	四、〇〇〇トン	三四月積	十五志半

（但しバート・カーゴ）

ビルマ＝オランダ

米	七、五〇〇トン	四五月積	十七志半

ウエールス＝ブエノスアインス

石炭	六、〇〇〇トン	三月積	十六志

西オーストラリア＝イギリス歐大陸、地中海

雜穀	八、〇〇〇トン	四月積	廿三志

タイン＝チリー

石炭	五、〇〇〇トン	四五月積	十七志半

ロンドン　三月十四日(金)

需要は引續き頗る小口である。主なる成約運賃左の通り。

サンロレンゾ＝ブリストル海峽

雜穀	五、五〇〇噸	三月積	一〇志半

ブエノスアイレス＝アヴガンマス、グラスゴー

雜穀	六、〇〇〇噸	三月積	一〇志四分三

セントジョン＝地中海

雜穀	三萬三千クオター	三月積	一〇志

ヴアンクヴアー＝リスボン

雜穀	七、一〇〇噸	三月積	二〇志四分一見當

南オーストラリア＝イギリス歐大陸地中海

雜穀	六、八〇〇噸	三月末又は四月初積	三志半

ビルマ＝アントワープ、ハムブルグ

米	六、五〇〇噸	四月積	一七志半

サンドミンゴ＝イギリス、歐大陸

砂糖	六、〇〇〇噸	五月積	一三志半

ウエールス＝ポートセッド

石炭	六、〇〇〇噸	直積	七志半

アメリカ 東洋郵便契約の入札

ロンドン　三月十四日(金)

遞信長官ブラウン氏は本日左記サンフランシスコ、東洋間三航路の郵便遞送契約の入札を發表した。この契約は四月十三日より開始されるものである。

一、サンフランシスコより横濱、神戸、上海、青島（又は太沽）經由大連に至る航路。右は一ケ年の就航回數十四回以上十九回以下。

二、サンフランシスコより上海、香港經由サイゴンに至る航路。右は一ケ年の就航十七回以上二十一回以下。

三、サンフランシスコよりマニラ、セブ（その他にフイリツピンに於て二港以上）に至る航路。右は一ケ年の就航十三回以上十七回以下。

（昭和五年三月九日——十五日發信）

アメリカ 二月中の輸出入額

ワシントン 三月十四日(金)

アメリカ商務省發表、二月中のアメリカ輸出入額は左の如し。(單位千ドル)

	本年累計	昨年同期
輸入	二八一、〇〇〇	七三八、三三九
輸出	三五一、〇〇〇	九一九、七二四

〔備考〕(單位千ドル)

	輸入	輸出
昨年二月	三六九、四四二	四四一、七五一
四月	四一〇、六六六	四二五、一六四
六月	三五三、九三	三九三、一七
八月	三六九、三五八	三八〇、七四〇
十月	三九二、〇〇〇	五三〇、〇〇〇
十二月	三一一、〇〇〇	四三四、〇〇〇
本年一月	三一二、〇〇〇	四一七、〇〇〇
二月	二六一、〇〇〇	三三一、〇〇〇

イギリス 二月中の輸出入額

ロンドン 三月十二日(水)

イギリス商務省發表、二月中のイギリス輸出入額は左の如し。(單位千磅、金銀塊正貨を除く)

	本年累計	昨年同期
輸入	八八、二一〇	一九〇、〇六四
輸出	二〇、五七一	二三七、〇〇七
英國品再輸出	五一、九二四	一四一、六五六
入超	八、六四七	
	二七、六三九	六三、〇五七

〔備考〕(單位千磅)

	輸入	輸出
昨年二月	九一、三四九	六五、九六六
四月	一〇四、一六八	七〇、六一一
六月	九一、四九九	五九、五〇九
八月	一〇〇、九九三	七二、〇五五
十月	一一〇、一七九	七三、七一八
十二月	一〇六、五七五	六六、三六七
本年一月	一〇一、八五四	六六、四三六
二月	八八、二一〇	六〇、五七一

イギリス 對支主要商品輸出高

ロンドン 三月十二月(水)

イギリス商務省發表、二月中のイギリス對支主要商品輸出高は左の如し。(單位鉄力トン、綿糸千封度、綿布及毛織物千平方碼)

	本年累計	昨年同期
鉄力	三、〇〇〇	五、九六一
綿糸	一、二六	二五、三
綿布	一〇、四四九	三〇、九
毛織物	七、七	二八、六二四
		四八、九六九
		一、七五
		三、七六七

〔備考〕過去の月別數字は左の如し。

	鉄力	綿糸	綿布	毛織物
昨年二月	二、八二一	一三四	二〇、一九一	一、二八五
十二月	二、九五四	一一〇	一六、七三一	五一〇
本年一月	二、九八一	一一六	八、八七五	一、〇五八
二月	三、〇〇〇	一一六	一〇、四四九	七一七

ドイツ二月中の生活費指數

ベルリン 三月十一日(火)

ドイツ聯邦統計局發表、二月中のドイツ聯邦七十二行政區に於ける生活費指數は一五〇・三である。之れを過去の數字と比較すれば左の通り。

	一九二七年	一九二八年	一九二九年	一九三〇年
一月	一四四・六	一五〇・八	一五三・一	一五一・六
二月	一四五・四	一五〇・六	一五四・四	一五〇・三
三月	一四四・九	一五〇・六	一五六・五	
四月	一四六・四	一五〇・七	一五六・六	
五月	一四六・五	一五〇・七	一五六・五	
六月	一四七・七	一五〇・四	一五六・五	
七月	一五〇・〇	一五一・六	一五四・〇	
八月	一四六・六	一五三・八	一五四・〇	
九月	一四七・一	一五三・三	一五三・六	
十月	一五〇・二	一五一・一	一五三・五	
十一月	一五〇・六	一五三・三	一五三・〇	
十二月	一五一・三	一五二・七	一五三・六	

〔備考〕右指數は食料品、家貨、衣服費、燈火、燃料及び交通費其他生活必需品の小賣値段より算出したものである。基準は一九一三年八月より一九一四年七月に至る一ケ年の平均を一〇〇としてある。

ドイツ 二月中の輸出入額

ベルリン 三月十五日(土)

ドイツ聯邦統計局發表、二月中のドイツ商品輸出入額は左の通りで、四千四百萬マルクの出超である。(單位百萬ライヒス・マルク)

	二月	一—二月累計	昨年同期
輸入	九八二	二〇七二	二、三三三
輸出	一〇二六	二、一二八	二、〇四二
差引入超▲	四四	一五九	二六〇

(▲印は出超)

次ぎに金銀塊の輸出入額は左の通り。(單位百萬ライヒス・マルク)

	一月	一—二月累計	昨年同期
輸入	一六三	一八八	二〇
輸出	四	七	七
差引入超		一八一	一三

〔備考〕過去一ケ年間の商品及び金銀塊輸出入額は左の通り。(單位百萬ライヒス・マルク)

	商品 輸入	商品 輸出	金銀塊 輸入	金銀塊 輸出
昨年二月	一、〇一五	九七一	七	四
三月	一、〇二二	九八二	一〇	三
四月	一、一五四	一、二二七	三	九七
五月	一、一二一	一、一二三	三	三
六月	一、一三一	一、〇七七	三六	三
七月	一、一三六	一、〇八九	二〇三	四
八月	一、〇七三	一、一八九	二〇	四
九月	一、〇八八	一、一〇〇	四	四
十月	一、一〇七	一、一二七	三	四
十一月	一、一六一	一、一五四	二六	三
十二月	一、〇一三	一、〇六三	四七	三
本年一月	一、二五五	一、〇九二	二五	三
二月	九八二	一、〇二六	一六三	四

週統計

イングランド 銀行週報

ロンドン 三月十三日(木)

▲三月十三日現在(單位千ポンド)

	昨年同期	一昨年同期
公金預金	九、〇〇〇	一一、九二四
其他預金	九五、七〇〇	一〇一、〇一五
政府證券	三七、三〇〇	四四、八三七
其他證券	三三、五〇〇	二九、三三七
紙幣及金銀貨	六二、二〇〇	五七、〇六四
金地金在高	一五二、〇六九	一五一、〇六九
英蘭銀行券流通高	三五〇、四〇〇	三五五、〇四五
預金準備割合	五九%三六	五〇%五二

×印は金銀地金在高

△印は英蘭銀行券流通高と政府紙幣流通高を合計したるもの。

△最近數週統計(單位十萬ポンド)

	諸預金	諸證券	準備金	地金	銀行券流通高
二月廿七日	九八、九	五二、〇	一五二、〇	三四六、八	
三月六日	一〇七、三	六〇、五	六五、〇	一五二、三	三四七、三
十三日	一〇四、七	六〇、八	六二、二	一五二、六	三五〇、四

イギリス 金銀塊輸出入額

ロンドン 三月十四日(金)

▲三月十二日迄一週間(單位千ポンド)

△輸出

金塊	一六六
銀塊	五七

△輸入

金塊	一、三三五
銀塊	三六

	金塊	銀塊
ドイツへ	一六六	一三
フランスへ	三	三
インドへ	一六	一六
オランダへ	一七	一七
アフリカより	一、一八六	九二
フランスより	四二	八二
インドより		一八
カナダより		一六
オーストラリヤより		

▲一月以降金輸出入額累計

	本年累計	昨年同期	一昨年同期
輸入	一七、〇〇一	七、二九八	七、九五六
輸出	一〇、四一〇	一〇、六八四	一四、〇七九
内アメリカ	—	六、〇五一	—
インド	三六	七五	六九二

△最近數週金統計

	輸入	輸出	内對米	對印
二月廿六日	一、〇四一	三、二五八	—	一六
三月五日	一、四六四	二四四	—	四二
十二日	一、二三五	一六六	—	—

ロンドン正貨積出高

ロンドン 三月十四日(金)

	積出高
Morea號積	一〇八、五〇〇ポンド
總計	三七、七〇〇
ボンベーへ 銀貨	七〇、八〇〇
同 金貨	一三、〇〇〇
	五、五〇〇
	一、〇〇〇
内カルカッタへ	六、〇〇〇ポンド
マドラスへ	五、四〇〇
ラングーンへ	六〇〇
▲汽船 Perim號積	
總計	
カルカッタへ 銀貨	
コロンボへ 同	

イングランド銀行 金移動統計

ロンドン 三月十三日(木)

▲三月十二日迄(單位千ポンド)

	解禁以來
受入高	二八三
引出高	一三
差引純流入	二七〇
純流出	—

△最近數週統計

	受入高	引出高	純流入	流出
二月廿六日	三五二	四	三四八	—
三月五日	二八〇	九	二七一	—
十二日	二八三	三	二七〇	—

インド政府通貨週報

カルカッタ 三月十二日(水)

▲三月七日現在(單位十萬ルーピー)

	昨年同期	一昨年同
紙幣流通高	一八、一七一	一八、五四〇
銀塊銀貨(在印)	一〇、七六〇	一〇、五九八
銀塊銀貨(在外)	—	—
金塊金貨(在印)	三、三七	二、九七六
金塊金貨(在外)	三、三三	—
證券(印度政府)	三、八七三	三、七八九
證券(英國政府)	三〇九	三七七
爲替手形	—	八〇〇

△最近數週統計

	紙幣流通高	在印金銀 銀	在印金銀 金	政府證券 印度	政府證券 英國
二月廿二日	一八、二二四	一〇、七二一	三、三七	三、八七一	二、九三
廿八日	一八、一五九	一〇、七四九	三、三七	三、八八八	二、九三
三月七日	一八、一七一	一〇、七六〇	三、三七	三、八七三	三〇九

上海銀塊在荷高

上海 三月十四日(金)

	三月十三日	昨年同期
上海市中	一〇五、一七六千兩	七五、七三四千兩
總在荷高	一五二、六一〇千弗	一二六、三一〇千弗
	一七、三二六本	九、一五四本
内支那銀	三三、八〇〇千兩	二、六五〇千兩
行手持高	二三四、一五〇千弗	七、六八〇千弗
	一七、二九四本	九、〇四五本

△最近數週統計(上海總在荷高)

	千兩	千弗	本
二月廿七日	一五〇、二九七	一五〇、二六〇	九、七八七
三月六日	一〇五、〇三一	一五一、七六〇	八、一五二
十三日	一〇五、一七六	一五二、六一〇	七、三六

アメリカ棉花統計

ニューヨーク 三月十四日(金)

▲ニューヨーク綿花取引所發表(昨年八月一日より累計、單位千俵)

	昨年同期	一昨年同
出廻高	一三、三八一	一三、七三二
米國紡績引取高	五、二九三	五、五九七
輸出高	五、六三七	六、五九四
内日本	八一一	一、〇七三
支那	一、六二一	一、六五五
イギリス	一、一一六	一、五八〇
ドイツ	一、四八八	一、六四二
ニューヨーク在荷	九五	九六
アメリカ在荷	三、三三三	二、六五四
各國棉世界在荷	七、六三〇	六、九四四
内米國棉	四、八七四	四、七四二
世界米棉取引高	一〇、二六一	一一、二八七

△最近數週統計

	出廻高	引取高	輸出高	内日本	米國在荷高
二月廿八日	一五七	一四一	九一	一一	三、四五一
三月七日	一三四	一五六	一四二	一三	三、四〇八
十四日	一二六	一四〇	八〇	六	三、二三三

エヂプト棉花統計

アレキサンドリヤ 三月十四日(金)

▲アレキサンドリヤ一般取引所發表(昨年九月一日より累計、單位千カンター)

	前年同期	前々年同
入荷高	六、七九九	四、九五五
輸出高	四、一〇三	四、〇一〇
在荷高	三、七一四	一、八九〇

△最近數週統計

	入荷高	輸出高	在荷高
二月廿七日	二〇八	七二	三、六七七
三月六日	一三九	七九	三、七三六
十三日	一三一	一五一	三、七一四

ボンベイ棉花統計

ボンベイ 三月十八日(土)

▲ボンベイ棉花取引所發表(昨年九月一日より累計、單位千俵)

	前年同期	前々年同
入荷高	二、三九一	一、九二六
輸出高 歐洲	四六八	四九五
支那	一七五	一三七
日本	六九七	七三
其他	三七	一九
計	一、三七七	一、四四四
在荷高	一、三三一	一、〇六六

△最近數週統計

	入荷高	輸出高 歐洲	支那	日本	其他	在荷高
二月廿七日	三九一	三九一	四七	一七	一九	九六九
三月六日	五一四	五一四	一七	三七	一七	八八〇

キューバ砂糖統計

ニューヨーク 三月十四日(金)

▲ウヰレットグレー商會三月十一日調査(單位トン)

	昨年同期	一昨年同期
作業中工場	一五六	一六三
生産高	二、〇〇〇、〇〇〇	二、九〇〇、〇〇〇
キューバ消費高	一四、八〇〇	一六、〇〇一
輸出港入荷高	一、〇三一、六〇〇	一、九〇四、四二七
輸出高	九〇、七〇〇	八七〇、八八七
製糖工場在荷及鐵道輸送中	九五、一、七〇〇	九七九、九三一
輸出港在荷	九四一、九〇〇	一、〇三三、五四〇
△舊糖輸出港在荷	四一、六〇〇	一、六一五

△最近數週統計(單位百トン)

	作業工場	生産高	入荷高	輸出高	輸出港在荷高
二月廿五日	一五四	三、五三〇	一、七四四	一三八	六、五一九
三月四日	一五五	三、二七〇	一、六一〇	二五五	七、九一四
十一日	一五六	二、七〇〇	一、七〇〇	一九五	九、四一九

△最近數週統計

	入荷高	輸出高 總計	歐洲	支那	日本	在荷高
二月廿七日	一一一	五八	三	—	五六	一、三〇〇
三月六日	一一七	九二	三一	七	四三	一、三一九
十三日	一〇九	八一	一九	五九	一一	一、三二一

イギリス・ゴム統計

ロンドン 三月十日(月)

▲ロンドン・ゴム協會(單位トン)

	本年累計	昨年同期
入荷高	三、四五三	二五、五一四
引取高	一、四一八	一三、三六六
在荷高	六六、四一八	—

△最近數週統計

	入荷高	引取高	在荷高
二月廿二日	一、八二二	一、七五五	六二、七一五
三月一日	二、八一六	一、二五六	六四、三六三
八日	三、四五三	一、四一八	六六、四一八

△週末在荷民間豫想 三月十四日(金) 三〇〇トン增

リヴアプール 三月十日(月)

▲リヴアプール三月八日現在(單位トン)

	本年累計	昨年同期
入荷高	二六四	四、三九七
引取高	二三〇	二、七二九
在荷高	二〇七、七七	—

△最近數週統計

	入荷高	引取高	在荷高
二月廿二日	三三三	三〇六	一九、七〇四
三月一日	一、二〇四	二二五	二〇、六九三
八日	二六四	二三〇	二〇、七一七

△週末在荷民間豫想 三月十四日(金)前週と增減ない見込

○本誌定價一部金一圓(半ヶ年＝廿六週分＝郵税共金貳拾圓)

發行所 大阪市東區北濱五丁目十二番地 新聞聯合社大阪支社

電話本局二二〇〇番三八四〇番 振替貯金口座大阪六八〇〇〇番

編輯發行兼印刷人 東川嘉一